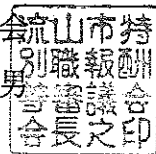




平成21年11月16日

流山市長 井崎 義治 様

流山市特別職報酬等審議会
会長 中山 文男



議会議員の報酬月額及び常勤の特別職の職員の給料月額について（答申）

平成21年10月19日付け流人第107号で諮問のあったこのことについて、本審議会は、提出された資料をもとに慎重に審議した結果、下記のとおり結論を得ましたので答申します。

記

1 議会議員の報酬月額

議会議員の報酬月額については、平成10年4月1日に改定されて以来、現在まで据え置かれている状況であります。昨年来からの世界的な金融危機を発端とした国内景気の急速な悪化は、雇用や労働情勢に影響を及ぼし、民間の賃金が厳しい状況にあること、また、このような状況を反映して一般職の公務員給与についても引き下げの勧告がなされたこと等を考慮し、一般職の給与改定に準じて現行の額を引き下げることが適当であると判断いたします。

2 常勤の特別職の職員の給料月額

常勤の特別職の職員の給料月額についても、平成5年12月1日に改定されて以来、現在まで据え置かれている状況であります。議会議員の報酬月額と同様の理由から一般職の給与改定に準じて現行の額を引き下げることが適当であると判断いたします。

3 審議内容について

（1）消費者物価の上昇率、人口財政規模等が類似している他の公共団体の特別職の報酬等の状況、一般職の給与改定の状況、議会議員の活動状況等を精査し審議しましたが、特に昨年来の世界的な金融危機を発

端とした景気の低迷、それに伴う雇用不安・賃金抑制といった昨今の社会経済情勢及び本市の財政状況が答申に影響を及ぼすものであるとの認識から、社会経済情勢及び財政状況に関する論議をしたところでもあります。

（2）財政力指数の向上や義務的経費の減少等、本市の財政状況が、ここ数年、堅調に推移していることが窺われるが、地方交付税の削減等に加え、市民生活に密着した行政サービスの堅持・拡充、つくばエクスプレス沿線整備事業及び少子高齢化対策事業等々、重要施策の推進に関する経費の増加も見込まれ、また、今後の社会経済情勢の不透明さから財政的には安穏としていられない状況にあるという認識をしたところでもあります。

以上、昨今の社会経済情勢及び本年度における国の給与改定の状況並びに本市の財政状況を中心に総合的に検討した結果、一般職の給与改定に準じて現行の額を引き下げることが適当であるとの結論を得たものであります。

4 付記事項

- （1）今回、議会議員の報酬月額及び常勤の特別職の職員の給料月額について、引き下げるべきとの判断をしたところですが、当審議会の論議の中で、議員定数の削減についても十分に検討すべきものとの意見がありました。
- （2）期末手当の加算率については、職責に応じて支給されるべきものであり、常勤の特別職及び議会議員についても同様の考え方に立脚すべきものとの意見がありました。